



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

ひとつの輝き

三品輝起著

ISBN978-4-89629-483-5 C0095 46 判変型上製本／本文 200 頁／定価 2420 円税込

『すべての雑貨』（夏葉社、のちちくま文庫）、『雑貨の終わり』（新潮社）等で知られる著者の新境地をひらく、待望の新刊。

消費活動の向こうに人間の営みの本質を見出そうする著作で支持を得てきた、東京・西荻窪の雑貨店「FALL」店主である著者。「すべてのものが雑貨化していく」現実には翻弄されながら重ねていく内省的な問いかけのなかに、現代社会を生きる私たちの姿を映し出し、多くの共感をよんだ。

4 冊目の著作となる本書では、「雑貨」というキーワードを店に置き、故郷へ、海外へ、あるいは東京に残されたエアポケット的空間へと、書物を携え歩き出す。人の生死、自然、分断の進む世界――これらの決して「消費」に取り込むことのできないものたちに向き合うとき、私たちを支えてくれるものは、いったい何なのだろうか。

父の死をつづる渾身の表題作をはじめ、16 篇から成るエッセイ集。

目次

ひとつの輝き

だれもない海

石からのレクイエム

五十四年後のルノアールで

地上にふたつの場所を

全地球カタログのきた道

全地球カタログを運ぶ河

変態をとげて

フェイクグリーン組曲

人工の林をぬけて

歩くひとたち

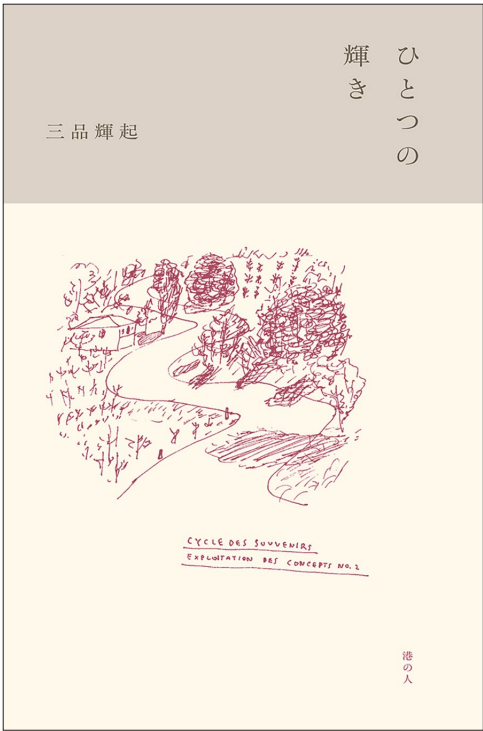
読むことの木

エッセーの名のもとに

ベルリンの中年時代

べつの流刑地で

ふとんのなかのパサージュ



ブックデザイン：三橋光太郎

三品輝起（みしな・てるおき）
1979 年、京都府生まれ。愛媛県にて育つ。
2005 年より西荻窪で雑貨店「FALL」を経営。著書に『すべての雑貨』（夏葉社、のちちくま文庫）、『雑貨の終わり』（新潮社）、『波打ちぎわの物を探しに』（晶文社）がある。

*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	ひとつの輝き 三品輝起
ご担当：	様	
		ISBN978-4-89629-483-5 定価 2420 円税込